

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 14 No 01

150号

平成18年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして
おめでとう
ございます



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

新しい年に向けて-2006-

院長

毎年恒例ですが、新しい年に向けてと題して、昨年の出来事を振り返ってみます。

悲惨な事件や事故には毎年のように遭遇しますが、4月25日に死者107人を出したJR福知山線脱線事故は、近年では最も衝撃を受けた事故でした。運転士の進入速度超過が原因と考えられていますが、背景についての十分な説明は為されていません。12月25日に死者5人を出した山形県庄内町のJR羽越線特急転覆事故も、まさかという思いでテレビにくぎ付けになりました。一日も早い原因究明と、お亡くなりになられた方々の御冥福を心よりお祈りいたします。

子どもの悲惨な事件も続きました。11月22日の広島小1女児殺害事件では、ペルー国籍の犯人が逮捕されました。その事件を模倣したかのような栃木小1女児殺害事件が12月1日に起こりましたが、手がかりも無いまま未だ解決の気配すらありません。入学したばかりの女の子という、弱い立場の子どもを狙ったこと、わいせつ目的であること、残忍な殺害方法から、人間の行為とは思えません。十分な防止策が講じられることと、一日も早く犯人が捕まることを願ってやみません。

マンションなどの耐震データ偽造問題も、大きな社会問題になりました。危険なマンションから出るに出れない方々の気持ちを考えると、本当に大変なことと思います。社会の中には不安の芽は一杯あります。少なくとも衣食住に関しては安心できること、行政がしっかりコントロールする責任があるでしょう。

新年早々悪い話ばかりで申し訳ありません。当院の話題に少し目を向けてみましょう。

丁度1年前になりますが、仙台放送スーパーニュースの“今年にかける”のコーナーで「患者に学ぶ ある小児科

医の試み」として紹介されました。時々待合室のテレビでも流していますが、なかなかよくまとめられた内容になっていました。3月には茨城県小児科医会に招かれ、教育講演を担当しました。7月には小児科ミニ知識のアクセス数が100万件を越え、8月には読売新聞の“異才面談”で「母親の不安解消したい-HP開設、アクセス100万件に-」カラー写真とともに6段抜きで紹介されました。また、同じ8月に眼科の医療関係向けの雑誌で『お母さんクラブ』の活動が紹介されました。11月には“子育て応援団 すこやか2005”が開催され、子育てセミナーを担当しました。トークショーのようで、時々待合室で放映されています。12月には“Mixサラダ”(キャベツが発行している情報誌)で、HPが紹介されました。月刊誌の“ホスピタウン”(日本医療企画:6日発売)の「実績を誇る医師たち」、こどもの病気・50人の名医の一人として掲載の予定です。

1993年6月に創刊した「かわむらこどもクリニックNEWS」が、お陰様で150号を迎えることが出来ました。時には発行を中止しようという思いに駆られたこともありましたが、多くの愛読者の方々に支えられてここまで続けることが出来ました。院内報、HP、お母さんクラブなど、全ての活動が多くの方々に支えられていることを、また改めて感じることが出来ました。本当にありがとうございます。

当院も2月20日で、お陰様で13年になります。毎年“漫然と同じことの繰り返しでは、進歩がありません。”と書いています。これから、また何か新しいことが出来るか、性懲りもなく考えているところです。お母さんたちも子どもたちのため、何か一つ新しいことに挑戦してみましょ。新しいことが出来なくても、一つ一つの小さな積み重ねの大切さも大事にしたいことです。子どもたちを取り巻く環境は必ずしも良好ではありません。今年は皆さんにとっても自分にとっても、ますますよい年になることを願っています。



1月のお知らせ

- ・東北大学医学部学生実習
1月27日(金) ご協力を!
- ・栄養育児相談 毎週水曜日
13:30~14:30 栄養士担当

患者さんからの言葉

患者さんから頂いた投書やメールを紹介します。今月号で『かわむらこどもクリニックニュース』も、150号を迎えることができました。御愛読と応援ありがとうございます。150号がちょうど1月号に重なったこともあり、150号へのエールだけでなく、お礼や挨拶のメールも頂きました。区別がつきにくいところもありますので、特に分けずに紹介します。(掲載は50音順です)皆さんの思いをなるべく伝えるため、原則として原文のままとしました。本当にありがとうございました。

150号おめでとうございます☆先日参加したクリスマス会のお話を書きたいと思います(〇〇)わが家はお母さんクラブのクリスマス会に参加するのは何回目になるのでしょうか…もう1番上のお姉ちゃんは大きくなり小学生で参加するのも、申し訳ない位なのですが(〇〇)毎年楽しみにしているんです♪と、言うのも…最近クリスマス会というイベント自体がないんです。私が子供の頃は、子供会などであったのですが。子供達にとっては初めてのクリスマス会だったんですよ(〇〇)oサンタさんが来てプレゼントをくれたり…ビンゴなどのゲームがあったり…本当に楽しく参加できるので、毎年楽しみにしているんです!毎年思うことですが…準備に時間がかかっているだろうなあと、いうことでした。前回は子供達に歌を唄わせたのですが…今年は違う事をしたいと考えました☆ゲームなどは看護婦さん達が毎年面白い物を考えてきてくれるので…お母さん達が喜ぶ事を!と、考えてくじ引きにしたのでした(〇〇)何が当たるか分からなくても、何がもらえるか…何が出てくるか…という楽しみw(〇〇)w大人でもワクワクしますよね☆子供達にはぬいぐるみのくじ引きでした。たいした物は無かったのですが…少しでも喜んでもらえて、良かったですm(〇〇)mそして、また来年も参加して…何か出し物をしたいと思っていますp(〇〇)q他の皆さんよりかなり大きい子供達ですが、まぜてくださいね☆ 宮城野区鶴ヶ谷 相沢



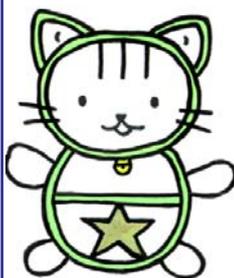
クリスマス会ありがとうございました。参加したみんなが楽しんでくれたと思います。子ども達が大きくなっても、ちゃんとまぜますから(訛ったかな)、『お母さんクラブ』を支えて下さいね。

かわむら先生クリニックニュース150号おめでとうございます。そして、2005年も大変お世話になりました。クリニックに通い初めてはや四年。二人の子供が毎月のようにお世話になっていますが、今年初めて下の子が入院しました。高熱が一週間続き、クリニックで様々な検査をして頂いたのですが熱以外に症状もなく…クリニックが休診の日にみて頂いた病院で入院をすすめられました。そのことをメールで先生に報告した時、『やはり入院になってしまいましたか、ごめんなさいね。』という返信を頂きました。(先生謝らないでくださいよお)と、心のこもったメールに泣きそうになりました。私のお医者さんに対するイメージは冷たい・堅いだったのですが、先生には暖かさ、人情?いや人柄を感じます。もちろん看護・事務スタッフの方々もです!子供の病気も、母の不安も一度に治してくれるクリニックこれからも子育てママの強い味方でいてください!! 泉区南光台 泉

入院させないこともクリニックの力です。その力が足りなかったのが、残念でした。この気持ちを分かってくれただけで、有り難いことです。そして、クリニックへのお誉めの言葉、ありがとうございます。

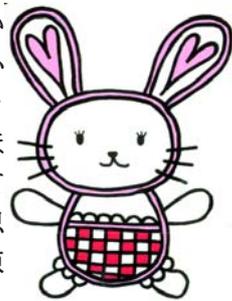
クリニックNEWS150号おめでとうございます!いつもパパと読んで勉強になってます。今までののは全てファイルしています。かわむら先生のとこにお世話になって二年全てが勉強でした。知り合いから先生のことを聞いて初めて行ったことは今でも覚えています。それからはもうかわむらこどもクリニックしかない!とばかり行くようになりました。メールもするようになり私達親にとっては本当にみじかに感じるようになりました。初めの頃はいついっても混んでいてもっと病院大きくすればいいのにな、と思いパパと話していたらパパに言われました。「今の大きさだからいいんだよ、大きくしたら患者さんのことや、メール、お母さんクラブ全てが難しくなるんじゃない?今の病院だからいいんだよ」と言われました。確かにそうかも…と考えさせられました。これ以上忙しくなったらみなさん大変ですよ!今のままのかわむらこどもクリニックでいつまでもあってください! 宮城野区幸町 板橋

新聞ファイルで取って置いてくれて、ありがとうございます。またやる気が出ます。最近はずいぶん忙しいのですが、今ぐらいがちょうどいいのでしょう。確かに御主人の言う通りです。



こんばんは、今日も長引く風邪でお世話になりました伊藤夏月、陽の母です。いつも参考にさせていただいています『かわむらこどもクリニックNEWS』が今回150号を迎えるということで常日頃感じていることを恐縮ではありますが感謝の気持ちを込めて…私たちがお世話になりはじめて早6年になりますがじつは先生に初めてお会いしたのはさらに2、3年前でしょうか、洋服屋で働いていた時に接客をさせていただいてシャツを2枚ご購入いただきました。不思議とその時のことはよく覚えていて印象は‘物静かで紳士的’そのお客様が先生だと知ったのはもちろん後からでしたが6年お世話になっていてもそんな話なんてできないほど先生はいつも忙しく、こちらからはなんとなく話し

かけづらいつも雰囲気だったんですが、それが違うということに最近気がつきました！思い切って話しかけてみたら、ペンを置いてこちらに体を向け話しを聞いてくださる余裕をお持ちだったのです（安心しました(^-^)) これからもどうぞよろしくお願いいたします。それから忘れてはならない看護師やスタッフみなさんのあの笑顔とやさしさ！いままで何度お世話になったか覚えていませんが精神面でどれほど助けていただいたか少しも、具合の悪い子供を連れて泣きたい気持ちで行った時、母にとってときにはかわむら先生より存在‘大’の時もあったほどです。本当にお忙しく大変なお仕事だとは思いますがこれからもお体を大切に頑張ってください、本当にいつもありがとうございます。青葉区高原
伊藤



プライベートな自分を見られていたこと、少し恥ずかしい気持ちです。でも、良かった！！。クリニックは皆で支えあっているのです。医者役割は、半分まで行かないぐらいです。婦長をはじめ、スタッフ皆に助けられています。スタッフの存在‘大’と言うのは嬉しい限りです。そして、本当に支えてくれているのはお母さん達ですよ。

いつも大変お世話になっております。先月になってしまいましたクリニックニュースを読んで初メールをさせて頂くことにしました。私は川村先生が他の先生と一番違うと思うことは、患者目線で考えてくれているともすごく感じるところです。小児科の場合、親の目線と子供(患者)の目線とありますが、どう言えば親が喜ぶかばかり気にしている先生が多い中、川村先生は子供がどうしたら喜ぶかをアドバイスしてくれます。それは、親として子供にどう接したらいいかわからない親にとっては耳の痛い話になるところがあります。私もその一人でした。自分も小さい頃あまりいい環境ではなかったせいか、気持ちは子供を思っても親としてどう接したらいいかわからずやみくもに心配ばかりしていました。そのとき川村先生に「親ってそういうもんでしょ。」と言われると「ズキッ」としてました。（それに気付いたのか佐藤さんのフォローはいつも私を助けてくれました。）でも冷静になると、川村先生のおっで通りのかわむらこどもクリニックでがんばってください。泉区南中山 太田

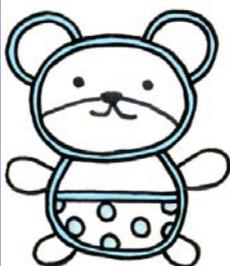
ちょっときついことを言うこともあるので、先生は厳しいとの評価は結構あります。そこで、スタッフがクッション役。何か理想的ですね。スタッフの努力、ありがたいことです。かわむらこどもクリニックは変わりませんよ。

加藤碧惟、伊織、莉緒の母です いつも大変お世話になってるのにきちんと御礼をせず申し訳ありません。我が家は長男が生後五ヶ月くらいからお世話になってるのでもう10年でしょうか…行けば朝から夜まで点滴君だったし救急車で運ばれ、先生に同乗してもらい転院した事もありました。あの時は婦長さんにも『何か相談したい事あったらウチの先生に何でも相談してね』と救急車を見送ってくれましたとても心強かったのが今でも強い印象です。あれから下に二人生まれ滅多に風邪もひかない二人なので先生に会う機会も少なくなりました。引越しをして近くの病院へ行くことも考えましたが私と相性！？が悪いのか信頼できずやめました。やはり、いくら『あそこは良いよ』と薦められても我が家と相性が必ずしも良いとは限りませんね。我が家のホームドクターは川村先生でありクリニックの皆さんです(^_^) 私は運転しないので電車で行くのですが少しも苦じゃありません だって先生の話聞いて私の不安も消えるからドォ〜ン！と構えて看病出来るんですから♪ 長男は相変わらず色々病気がちですが気持ちに余裕もって頑張ります。先生やクリニックの皆さんも体調に気を付けて頑張ってください。長々とすいませんでしたm(__)m 青葉区国見 加藤

電車で通ってくるのですか。仙山線は本数も無く、不便でしょう。遠い所や不便な思いで通って来るお母さん達のために、何か持って帰れるものを追求していきたいものです。

川村先生、こんばんは。先ほどはどうもありがとうございました。何から話していいやら。まずは、お礼。本当にありがとうございました。実は、今日は雪だった為車で送迎でした。（いつもは自転車なので何とか間に合ってたんですが）H保育所からの道は年末とページェントのせいもあってすごく混んでたんです。6時なんて無理かも・・・でも、ここ2日の咳き込んで涙を流しながら眠る旭を今晩もあんな目にあわせるのは忍びなくクリニックに一応電話をいれました。時間を過ぎることの迷惑さは私の職場も一緒なのでご〜くわかるんです。子どものいるもの同士が働いてるんだからそのせいで、看護婦さんの子どもが待ってる時間が長くなることも。だからなるべく滑り込みは避けてました。そんな2つの考えが交差するので、ダンナとイライラしながらもたまたまする周りの車に文句なんか言って向かってました。

ふと、これからこんなことを旭の卒園まで、つまりあと5年は続くのか。と思ったら悲しくなって「近くのどっかに病院変えようか。」と言ってしまいました。ダンナにははっきり「嫌だ」と答えられました。本当はもっと早くインフルエンザは受けるべきなのも知ってました。でも、秋からは弱スケの息子たちが交互に風邪をひき年休をたくさん取っていたのです。今の所長はあまりそのことで休むのを好まない人なので、「他に見てもらえる人を探せ」とか、「夜中でも診てもらえる病院にかえたら？」とか散々言われました。そのたびに「母親は私だけ。保育士はわんさといる。」と言いつつ耐えてました。（子どもを預かる職場でもこうです。世のお母さんたちのつらさったら無いでしょ



うね。。) そんなこんなで、予防接種に時間休をくださいと言えませんでした。そんなことをしていたら先週、とうとうH保育所でA型がでてしまったんです。それで慌てて予防接種を受けました。ほんと、計画性の無いダメ母でした。土曜だってあったんですよね。。ここ何ヶ月か風邪をひくのが恐くて土日は家で過ごさせました。私はほとんど土曜も出勤なので予防接種を封印してしまっていました。職場のせいじゃなく、親のサボりですね。先週の火曜日、クリニックの説明(年内に受けるのが原則であること。薬が足りるかわからないこと。接種時間が二時三時、四時五時であること。)を聞いて、「無理だ。」とあきらめ近所に行って質問するつもりが「ハイ問診票書いて。」と急にすみしました。それから金曜の旭の熱。咳。「そういえば、予防接種の説明に喘息発作が副作用の中にあったな。。でも、川村で受けたんじゃないから先生には聞きづらい。」と胃が痛む始末。今朝も、「今日川村行ったら明日の予防接種受けていいか聞こうかな。聞きづらいな。だからって一回目受けとこの先生じゃ信用ならないな(失礼ですが(笑))。」診察のぎりぎりまでダンナに「聞いたほうがいいかな。気かなくていいかな。」とぐずぐず言っていたんです。でも思い切って痛む胃を我慢して「旭のため！」と質問したんです。楓の時は緊張してトンチンカンなことを言っていました。先生の答えがいつもと変らない感じだったので旭の時はすっと聞けました。「聞いてよかった！」と待合室に行った矢先、看護婦さんにどこで受けたの?と聞かれ「!!!!」とびっくり。先生も看護婦さんもやっぱり気付いちゃった!とすごくドキドキしました。その後はあのとおり。私は「川村先生を信用してなかったのかな・・・看護婦さんに何で相談しなかったのかな」と同時に「なんてありがたいんだろう。」と「涙」が出ちゃったわけです。何で病院変えようなんて一瞬でも思ったんだろう。もっと信用して、状況をぶつけてみればよかった!こんなことじゃあの「苦情メール」の人と一緒にですね。自分の思いを伝えもせずに後から文句だけツラツラ並べて!思いを伝えようと歩み寄らない自分を棚に上げて相手を非難したり(私は非難はしてませんが)、そこから去ったりはおかしいですよ!そして先生が一言「あの二人は自分じゃなきゃちゃんと診てやれないんだ。」(みたいなニュアンス。私にはこう聞こえた。)と言ってくれた事すごく〜おおおお嬉しかったし、「やっぱり先生のところに来よう!このスタッフのところにこよう!ダメな母だけど甘えさせてもらおう!」って強く思いました。それでも受け止めてくれるお医者さん、看護婦さんはここしかない!と。帰りの車、だんなにすぐ話して二人でジ〜んとしてました。先生、スタッフの皆さん本当にありがとうございました。明日とこれから何年もよろしくお願ひします!長くなってすみませんでした。失礼します。



青葉区上杉 北野

長文が故に、当院への熱い思いが伝わってきます。内容が少し複雑ですが、親御さんは仕事、子ども、そして医療機関に対していろいろなことを考えています。本当に大変ですね。有り難さから来る涙、これもしっかり伝わりましたよ。クリニックと患者さんの垣根をなるべく少なくする。掛かり付けてそういうものなのです。そして心配なく、これからは遠慮なくですよ。念のため保育園の名前だけカットしました。

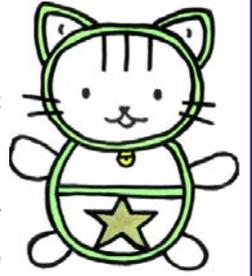
新聞150号発行おめでとうございます。いつも二人の子供がお世話になっています。上の子供がかわむらこどもクリニックに始めて行ってからもうすぐ9年になります。幸町に引っ越してきてから、まだ日が浅かったので子供が生まれてからどこの小児科へ行こうか迷っていた頃ちょうどインターネットでかわむらこどもクリニックのホームページを見て、近いし行ってみようかという軽い気持ちで行ってから、今もずーっと通っています。お世話になった中で一番の思い出は、4年前に私が水痘に掛かったとき(まだ掛かってなくて、幼稚園かどっかで子供より先に移ってしまったらしい)ちょうど下の子がまだ1歳になってなく予防接種を受けていなかったの、どうしたらいいかメールで聞こうと思いついたらすぐに「今すぐ下の子を連れて来てください」と中米さんから電話をいただき、すぐに川村先生の所に行き説明を受け一応遅いかもしれないけど軽くすむからと言う事で、下の子の予防接種を受け、私も一緒に見てもらい水痘の薬をもらい帰りました。結局下の子も水痘に掛かりましたが軽くすんで助かりました。川村先生にはいつもメールを読む時間があるのというくらい、すばやく対応してもらいありがとうございました。これからもお世話になると思いますがよろしくお願ひします。宮城野区清水沼 栗原



ホームページが役にたったようで何よりです。確かに忙しい中時間を作るのは大変ですが、なんとか作っています。困った時は、いつでもどうぞ。

初めてメールします。今日診て頂いた、河野未優・賢太郎の母です。(椅子から落ちてた)賢太郎のこと(泣いて寝ない)聞いて頂き、すっきりしました。成長過程の通過点に過ぎないと思いつつ毎晩続き、11月に産まれたさくらと3人で泣かれると、半ば私が泣きが入ってしまい、私の育てかたに問題があるのかとへこんでいました。先生の気にするな、頑張るな言葉が何よりの私の薬になり、気持ちがすっきりしました。本当にありがとうございましたm(__)m。家は川村先生から近いのですが、高松に引っ越してきたときは、まだ子供はいませんでした。主人が、仕事柄私より詳しく、この小児科有名なんだよ。インターネットで色々相談とかのってるんだって。と言っていて、そんな有

名な小児科が近くにあるなんてラッキーと思ってました。それから5年あっという間に子供が3人になりお世話にならない月はないという感じです。初めて行ったときはすごく患者さんと看護婦さんが仲が良く、なんてアットホームな病院なんだろう？私はこの中に入れるのかな？と思いました。婦長さんの娘さんと未優が愛児園で少しの期間でしたが一緒だったこともあり、川村先生のところに行くのが楽しみになりました。いつも婦長さんは最高の笑顔で癒されています。(ももちゃんも愛児園でいつもニコニコでした) 佐藤さんも受付のお2人も優しく、ニコニコしていて本当に素敵な病院ですね！先生は最初は恐かったですが(ごめんなさい)言葉に愛情があって、そっかそうすればいいんだ！と色々な事気付かせてもらっています。11月のクリニックのニュースを見て、色々な患者さんがいて先生大変ですね(涙)家は駐車場川村先生の向かいの方に借りていて、たまに夜車に行くと病院の電気がついていてこんなに遅くまで仕事してるんだと思い通っています。そんなのも見ているので、そんな患者さんがいるのはショックで、だったら勝手に行かなきゃいい事で、わざわざそんなメールしなくてもと思いました。先生大変でしょうが私のような母親のためにこれからも頑張ってください。本当に感謝しています。ありがとうございます。これからも3人連れて通わせてもらいますので、どうぞよろしく願います。今年も大変お世話になりありがとうございました。良いお年をお迎え下さい。ゆっくり休んで下さいね！来年もよろしく願います(^_^)お礼が言いたくてメールさせていただきました。今日賢太郎は静かに寝てくれました。それでは長々とすみませんでした。失礼します☆ 青葉区高松 河野



ほんとストーカーみたいですね。でも、我々医師の仕事はクリニックだけでは無いのです。新聞の発行やHPの更新、医療相談や皆さんからのメール、勉強など様々。診療所だけで済むお医者さん、うらやましいですね。

初めてメールをさせていただきます。佐々木愛海と昴の母です。初メールではありますが、いつも思っている事・感じていることをお伝えします。私たちがお世話になり始めて5年が過ぎました。先生の丁寧でわかりやすい説明はもちろんですが、スタッフの皆さんにも細やかなアドバイスや心のこもった優しい声をかけて頂き、子供が具合が悪くても『私には、かわむらこどもクリニックがついているから大丈夫』と安心していきます。昴が嘔吐下痢で入院した時も骨折しておまけに水痘になった時も…数え切れないほど不安な出来事はありましたが、いつも私は皆さんの存在に救われ、のりこえてきたように思います。思っているだけでは伝わらない事を知っていながら、今まで声にしなくてごめんなさい。(私の他にも『思っているが感謝していることを声にしていないお母さん』は沢山いらっしゃると思います。) これからも、私たち親子を幸せにしてくれる先生でいて下さい。(求めすぎ?)今年も一年、本当にありがとうございました。来年もすぐお世話になると思います(苦笑)が何卒よろしく願います。先生・スタッフの皆様もご自愛くださいね！たくさんの感謝をこめて…。 青葉区小松島 佐々木

皆さんも知っているように、当院の理念は「お母さんの不安・心配の解消」です。その思いが伝わっていること、本当に嬉しく思います。どんどん求めて下さいね。

お世話様です！150号おめでとうございます(^-^)^有斗と滯音がお世話になりだしたのは今年の5月からですから…まだ8号分のお付き合いなのですが、なんだかだいぶ前から通っているような感じがするくらい2005年は先生の所にお世話になりましたm(__)m有斗が幼稚園からご丁寧には菌を運んでくるもので…どうしても下の滯音の方がひどくなり、入院まで体験しましたよね(ToT)その節は大変にお世話になりました。毎週どういいうわけだか木曜になると熱がでて『魔の木曜』と言っていたことも…。あれから考えると、咳はでやすいものの少しは健康になってきたような気がします。ゼロゼロしやすい子は、やはり皮膚は鍛えた方がいいのですか？乾布摩擦とか(?_?)2006年もお世話になることは間違いないので、よろしくお願いします。青葉区錦ヶ丘 佐藤

5月からとは思えないくらいですね。ずっと前から通っている感じです。ここのところ随分落ち着いてきましたね。遠い所から大変でしょうが、めげないで通ってくださいね。

クリニックニュース150号おめでとうございます。川村先生との出会いは先生がお書きになった本が紹介された新聞でした。その当時みずきはまだ生まれてなく、職業柄本の内容に興味を引かれすぐ購入。その後みずきが生まれ、大きな病気をすることなく過ごしていたのでちょっとした風邪は近くの小児科に行っていました。ところが突然高熱がでてその小児科で診てもらったところ、「突発」といわれ帰宅。その夜40度を超える熱が。一晩中抱っこしながら早く朝になって欲しいとドキドキしていました。朝になりすぐかわむらこどもクリニックに駆け込みました。看護婦さんに「40度は大丈夫だから」と言われホッ、川村先生からも丁寧に説明していただいた後、インフルエンザと診断されホッ。この時迷わずかわむらこどもクリニックをかかりつけにしようと決めたのでした。その後もみずきが肘が抜けた時のこと。どこに連れていけばよいか迷いながらクリニックに電話すると「すぐ連れて来て！」と看護婦さんの力強い声。肘が抜けた時にも面倒をみってくれるクリニックに大感動したのでした。先生や看護婦さんとの話の



中で安心したり感動したことをあげればキリがありません。少し前まで川村先生の顔を見れば大泣きしていたみずきも今年のインフルエンザ予防接種では2回とも泣かずにクリア！！今では「川村先生のところに行くよ」というと楽しみにするようになりました。意外と丈夫なみずきなので少しくリニックに足が遠のくとそろそろ先生と看護婦さんの顔を見に行かなきゃという気になってきます。そんなリニックをかかりつけにしていることは千葉家の自慢の一つです。そして先生の本は仕事ではなくやはり我が子に大活用中です。診療にHPに執筆などなどおいそがしい毎日だとは思いますが、私のようにリニックで安心できる母親の味方として、先生と看護婦さん、スタッフの皆さんのますますのご活躍を願っております。これからもどうぞよろしくお祈りします！ 泉区明石南 千葉



先生との出会い、衝撃的です（？）。生れる前に本を購入して当院へ通院。でもそんなことってあるのですね。当院をかかりつけにしていることが自慢、なんてありがたいことでしょう。本当に泣かなくなりましたね。

先生に初めてあすかを見てもらってから、早11年が過ぎました。あつという間でしたが振り返ってみるといろいろなことがありました(*^_^*) 下のやまとがはじめてけいれんをおこしたとき、午後が休診だったにもかかわらず、心よく診ていただきました。あたふたして泣きそうになってる私と夫に『もう大丈夫、安心して！』とやさしく言ってくださった言葉は一生忘れませんm(_ _)mあの時のこと思い出さううるきてしまいます。やまとはその後もけいれん・嘔吐などなど、お世話になってますが、上のあすかもまだまだお世話になることと思います。小児科は他にも沢山ありますが、私は親子ともどもかわむら先生に出会えて本当に良かったと思ってます。笑顔になって帰れる病院って、なかなかないですよ！！ 先生、くれぐれもお身体に気をつけて益々ご活躍ください(^_^)これからもよろしくお祈りします。泉区南光台 千葉

もう11年ですか？。本当に月日が経つのは、早いものです。何か思い出の中に、当院のことが刻まれていること、本当に嬉しく思います。でも、その頃のお母さんの頑張りがあったからこそ、今があるのでしょう。ほんと、母は強い！！。

こんばんは。早坂真奈穂の母です。川村先生、この1年間本当に有難うございました。娘の2ヶ月健診から、ず〜とかわむらこどもクリニックを利用していますが、本当に、先生に出会えて良かった!!!と、声を大にして言いたいです。先日、実家へ帰省した時は、娘の急な発熱で慌てましたが、先生に、メールする事により、遠隔地に居ながら診察されている気分でした。また、先生からの迅速なメールの返信には、救われた気がしました。実家が離島なので、救急などがあるわけでもなく、非常に不安でしたがメールで何処でも繋がっていると思うだけで、随分精神的にラクになりました。勿論、ウチの家族皆が、先生の対応に感動しておりました。その節は、本当に有難うございました。また、先日はおかあさんクラブの「クリスマス会」へ参加させていただきましたが、余興あり、多数のプレゼントあり、サンタさん有り・・・で、とってもとっても、楽しいパーティーでした。子供も、親も充分楽しめましたよ。既に来年も是非参加したいと思っている次第です。今年は、娘が1歳。私も育児1年生。ということで何かとクリニックが駆け込み寺のように、何度も足を運んだ私です。最後に、いつもスタッフのテキパキとした対応、そして配慮ある対応に感謝しております。先生方も、どうぞお体には充分気を付け、年末年始、ゆっくり休まれて下さいね。来年も、早々にお邪魔するかと思いますが、どうぞ娘共々宜しくお祈り致します。青葉区川内 早坂



出会えて良かったと声を大にして言いたい。ありがたい言葉です。当院の患者さんは実家に帰っても、転居しても、かかりつけに変わりはありません。困った時は、いつでも、どこでも（離島でも）頼りにして下さい。期待に答えますよ。

堀内亜美と尚貴の母です。いつもお世話になりありがとうございます。クリニックを利用しはじめて、早いもので七年半になります。古い話になりますが、亜美の二度の入院の際は、受け入れ先をみつけていただくのに、ご尽力いただきありがとうございました。喘息の発作のような状態になり、かけこんだこともありました。いつも安心をくださりありがとうございます。そんな娘もずいぶん丈夫になりました。今はもっぱら尚貴がお世話になっています。怪獣のような息子ですが、今後ともよろしくお祈りします。時間に追われる生活をしておりますが、いただいたクリニックニュースは、会社の昼休みなどを利用して読み、夫にも読ませています(^0^0^)。勉強になることも多いし、なるほどと思うこともあります。忙しいことと思いますが、ぜひこれからも発行してくださいね。最後になりましたが、今年もお世話になりました。来年もよろしくお祈りしますm(_ _)m。宮城野区大槻 堀内

クリニックニュース役にたっていることを聞いて、安心しました。なかなか普段は反応がわからないもので、150号記念号でこのような言葉をもらったこと、また続ける励みになります。継続が一番の力です。これからも応援して下さいね。



実習学生からの言葉

当院では2000年から東北大学の授業と自発的な学生実習を受け入れています。

現在まで36人の学生さんが実習に来ています。診察の見学だけでなく、健診では多くのお母さん達の協力により赤ちゃんをだっこさせてもらい、大変好評です。ご協力頂いたお母さんに、この場を借りてお礼致します。ほぼ全員の学生さんから、お礼と感激（特に抱っこ）のメールが寄せられています。今回、一人の学生さんから150号へのメールを頂いたので紹介します。もともと小児科志望でしたが、当院での実習を期にますます子供達の魅力に取り付かれたようです。

「院内報 創刊150号によせて」 自治医科大学 医学部 6年 竹内 勇介

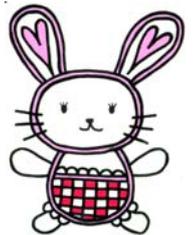
創刊150号おめでとうございます！私は、偶然インターネットで川村先生のホームページを見つけたことが縁で、実習させて頂きました…が、初めての仙台、しかも見ず知らずの学生を受け入れてもらえるだろうか…と不安いっぱいでした。しかし、そんな心配は取り越し苦労でした。かわむらこどもクリニックは、とても雰囲気明るく、診療中もおかあさんも子どもたちも本当に生き生きとして、今までの自分のイメージにあった『病院』が一新させられるような、居心地の良さを感じました。実習をさせて頂いて、嬉しかったことがあります。診療を見学させて頂いている合間に、おかあさんが「抱っこしてみますか？」とおっしゃって下さったことや、赤ちゃんの服を着せることや、坐薬を入れるお手伝いなどが出来たことでした。何気ないことのようにですが、今まで赤ちゃんと接する経験を殆どした事が無かったので、どうやったら素早く泣かせずにできるか、など考えながらやってみると、おかあさん方が普段いかに苦労されているかが良く分かるとても新鮮な経験でした。その後、大学の小児科での実習でも、そのような機会には恵まれず、実習中おかあさん方に経験させて頂いたことは、いかに貴重な経験だったのだな、ということは今更ながら実感しています。また、川村先生のところへ寄せられたメールの内容を見せて頂いて、何よりびっくりしたことは、医療相談のメール以外に、川村先生が不調のときに体調を気遣う多くのメールや、スタッフの皆さんが臨機応変に対応されていたことに対する感謝など、見せて頂くまで想像もつかなかった声が多く寄せられていたということでした。そのようなおかあさん方からの声を聞くと元気になり『宝物』だと川村先生がおっしゃっていたことがとても印象的でした。川村先生のパワフルな行動力は、こうしたおかあさん方や子どもたちとの心の交流から来ているのかな(?)と感じました。かわむらこどもクリニックでの実習を通して、どんなことでも実際に体を使って経験してみないと分からないということや、刻々と変化する状況の中、子どもたちにとって今、何が必要かということを見極め、それを分かりやすく伝えることが大切だということ学ぶことが出来ました。学生実習にご協力下さいまして、本当にありがとうございました！。

当院での実習の目的の第一は、コミュニケーションです。医療相談やかかりつけの患者さんから頂いたメールを使って、患者さんの不安や心配の強さ理解してもらい、返事や診察を通しての不安・心配の解消法を学んでもらいます。そして、こどもの魅力とすばらしさ、に興味を持ってもらうことを目的にしています。

子どもたちの展覧会

本当にありがとう！！。みんな！、サンキュー！！。

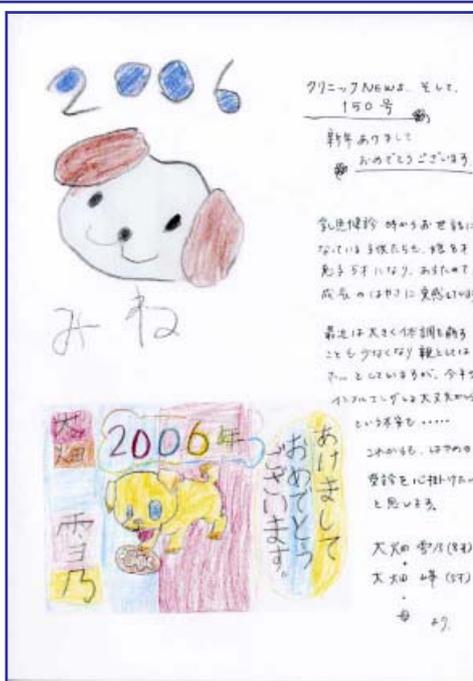
お母さん方の声掛けもあって多くの作品が集まりました。みんな、上手に書けていました。本当にありがとうございました。またの機会には、是非お願いします。



泉 さくらちゃん



小川夏実ちゃん



大畑雪乃ちゃん・峰くん



櫻井柚ちゃん



櫻井秀保くん

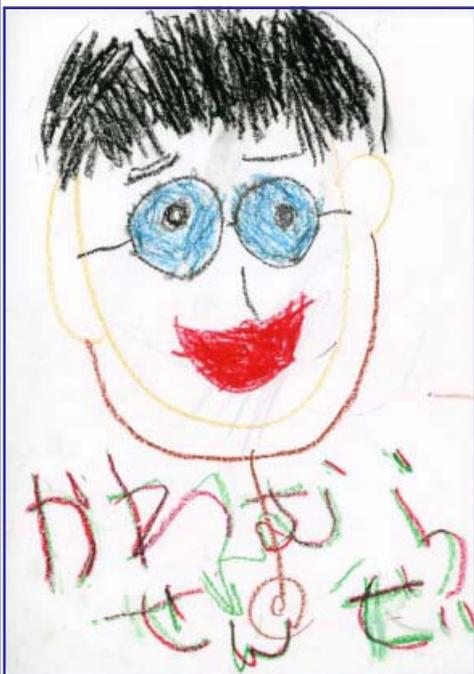
子どもたちの展覧会



鈴木七彩ちゃん



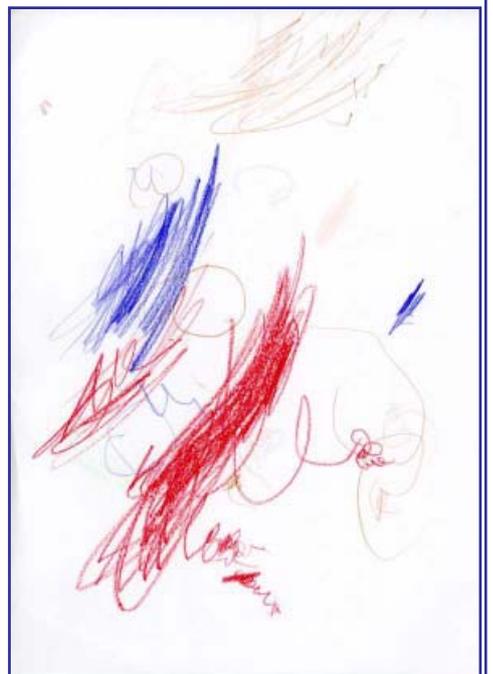
千葉あやかちゃん



梅澤綾奈ちゃん



寺島愛華ちゃん



寺島香菜ちゃん

スタッフから

“クリニックニュース150号おめでとうございます！！いつも、いつも忙しい先生なのに、月初めには必ず出来上がっている新聞。月に一度全国の院内報ネットワークから、郵送される数多くの新聞のなかでも、内容も充実していて、一番目を引き寄せられます。だからこそ院内報コンクールにて、病院院内広報企画賞を受賞したのでしょう。新聞一面の記事は、私達スタッフも旬の話題としてとても勉強になり、患者さんとのコミュニケーションに役に立てて頂いています。記事2面では、「患者さんからの言葉」いつも有り難く読ませて頂いています。さて150号を節目に、今の自分を振り替えてみたいと思います。毎日が流れ作業になっていないかと、反省することばかりです。見掛けによらず(?) 社交性に欠ける自分は、相手の気持ちを考えず会話をしているのではないのでしょうか? 特に問診を聞く時などは、相手の気持ちをくみ取り、本当に伝えたい事をカルテに書いているのでしょうか? と、ひとつひとつ見直さなくてはいけないと思っています。これからも沢山の子ども達やお母さん、お父さんと出会いいろいろな事を教えて頂きながら、それを少しでもお返ししたいと思っています。今年は昨年反省したことを繰り返さないよう、心豊かになり気配りが出来る看護師を目指したいと思っていますので、よろしくお願い致します。

婦長 中米由美子

クリニックニュース150号おめでとうございます!! 新年号が記念すべき150号となりました。私がこちらに勤務して3ヶ月目にクリニックニュースが100号をむかえ、それから約4年の月日が経ちました。「継続は力なり」先生にぴったりの言葉です。私はこの4年間で、やってみようと思ったことはいくつかあります。でも、今続いているものは? …ありません。クリニックニュースはもう10年以上の歴史があります。先生には本当に頭が下がります。忙しい診療時間が終わっても、会議への出席など、多忙な日々を送る中で、開業理念「母親の不安・心配の解消」に基づき、スタッフの私が毎回ためになる、内容ぎっしりのクリニックニュースの制作を一度も休むことなく継続する先生。本当に尊敬です! 今年は年女の私です。先生を見習い、何かひとつの事を成し遂げたいとおもいます。看護スタッフ 佐藤陽子

クリニックNEWS150号おめでとうございます! ついこの前100号だと思っていたのですが…私もこの病院で5年半も働き年齢も増しているからか毎日があつというまに過ぎていくからかもしれません。一つのことを続けること、新しいことに次々とチャレンジしていく先生は本当にすごいなと改めて尊敬してしまいます! こんな身近に刺激を与えてくれる存在がいることはとても幸せな状況なので先生を見習って私も何かやり続けること、新しいことへのチャレンジをしていきたいです。又、10月から電子カルテになり追われるように一日が過ぎていく状況が続き先生には診療の他にもテレビや雑誌の取材など仕事が山のようにあります。先生を信頼し通ってくるお母さん方がたくさんいるので体を酷使しすぎないようにしてほしいなと思います。かわむらこどもクリニックのスタッフとして少しでもお母さん方の役に立っていただけたいなと思っています。事務スタッフ 福地あさか

150号おめでとうございます! 私がかわむらこどもクリニックに勤めてからもう1年半が経ちました。本当にあつという間です。それは、やっぱり仕事の内容が『濃い』からだと思います。私が、このクリニックのアピールポイントを3つ挙げるとしたら(旧)先生の仕事への熱心さです~先生は診察で、どんな事でも曖昧にせず熱心に答えていると思います。やはりそういう姿勢がお母さん達から信頼されているんだと思います。そして、常に新しい事を取り入れ、前進んでいく先生は、自慢の先生でもあります! 次に旧患者さんとの結び付きの強さです~病院は診察と薬を貰う為だけの場所じゃないんだって事をこのクリニックに来て強く感じました。患者さんと会う度に親しみがわいてきます。そして何気ない会話でもすごく嬉しくなります。特にお母さんクラブは、スタッフも参加するのですがその時間も患者さんと親しくなれる楽しいひとときです。特にクリスマス会はビックイベントで盛り上がります! 受け付けの横に写真が飾つてあるので、ぜひ見てみて下さい。最後は火スタッフの仕事への情熱です~私はまだまだ経験不足ですが先輩方は素晴らしいです。みんな常に一生懸命で先生と一心同体という感じです。私も見習って成長していきたいと思っています。今年も前へ向かって仕事を頑張り、そしてお母さん達との会話で和めたいなと思います。事務スタッフ 道端千尋



年賀状 ありがとうございました

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同



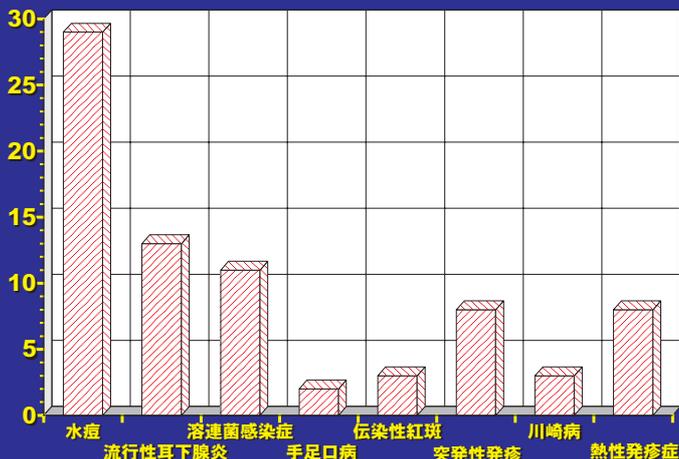
読者の広場

患者さん専用のメールアドレスを設定して5年が経過しましたが、初めて一月のメールが50通を超え、先月で総数が1500通を超えました。150号とも重なり、とても嬉しいことです。振り返ってみると、多くの親御さんから感謝やお誉めのメール、入院の時にはお見舞いのメールをいただける幸せ者です。多くの患者さんに支えられているお陰です。本当にありがとうございました。まずは郡山に転居した菊地さんからです。「今晚は。ご無沙汰しております。菊地翔大の母です。9月に転勤のため郡山へ引越し、仙台を離れてから早いもので4ヶ月、先生は翔大の事を覚えていてくれるのでしょうか？。仙台に住んでいた時は、大げさですが毎週のようにクリニックへ通い先生に診察して頂いていたことを今では懐かしく思います。0才のときから先生にお世話になっていたのに翔大も「先生のとこに行けば治るよね」と言うほど先生にかなり洗脳!?(笑)されていたように思います。母親の私でさえも具合の悪い子供を連れクリニックへ行くだけで、診察も終わっていないのに大丈夫!!と不思議な安心感がありました。先生はじめスタッフの皆様には大変お世話になっていたのに最後に挨拶も出来ずに仙台を離れてしまった事を後悔する日々が続いていました。郡山へ引越し、翔大もなんとか体調を崩す事もなく過ごせていますが、未だにどこの小児科へ行けば良いのかと私自身不安心な毎日です。少し前に予防接種の為ある小児科へ出掛けたのですが、何かが違うなあと何か物足りなさを感じながら帰宅してしまいました。思わず川村先生やスタッフの方々の優しさを思い出し涙が。お恥ずかしい話なのですが実話です(笑)仙台へ帰省の際はまた先生にお世話になりたいと思っておりますのでその時は宜しくお願いします。健康に過ごすことが一番ですが、また先生やスタッフの皆様にお会いできる日を楽しみに私たち親子も郡山で頑張りたいと思っています。それでは突然のメール失礼致しました。」。ほんとありがたいです。当院のために涙を流してくれること、ある意味では幸せです。きっといい先生が見つかりますよ。離れてもいつまでの当院の患者さんです。心配事があれば、いつでも相談して下さい。続いては、男性陣としては初めて『お母さんクラブ』に参観した区の橋野さんからです。「川村先生とスタッフの皆様へ。いつも大変お世話になっております。橋野優樹の父です。先日のXmas会はお疲れ様でした。お母さん会のことは書から聞いていましたが、今回はその書に誘われ参加することにしました。平日頃から娘に関わるイベントには極力参加したいと思っていますので、とても楽しみにしていました。ただ、娘はここ1ヶ月ほどずっと体調が悪く、この日は久しぶりの外出で少し不安心でした。しかし、そんな不安心など吹き飛ばしてしまうほどとても楽しい会でした。もちろん、万が一娘に何かあっても先生やスタッフのみなさんがいるから大丈夫、という安心感もあったと思います。でも、会そのものの雰囲気がとても素晴らしく、先生をはじめスタッフやお母さん会のみなさんの愛情が伝わってきて、そのように感じたのだと思います。こんな楽しい会に今まで父親で参加した人がいないのが不思議なくらいです。というか、もったいない!ので、ぜひ他のお父さん方にも参加してもらいたいと思います。私も来年また参加させていただきたいと思います。(頑張ってネタも仕込んできます!)最後になりましたが、川村先生をはじめスタッフのみなさん、今年一年本当にありがとうございました。初めての子供もで右も左もわからない私たちにとって、かわむらこどもクリニックとの出会いはかけがえのないものでした。みなさんのおかげで、娘は順調にすくすくと成長しています。来年も娘が無事に過ごせるようお力添えいただければ幸いです。長くなってしまいましたが、最後まで読んで頂きありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。」。いろいろな意味で、多くのお父さんが参加してほしいものです。子育てにはお父さんの協力が欠かせません。なんとかお父さんを引き込もうと『お母さんクラブ』の父親版を考えていますが、『お父さんクラブ』未だに開けないでいます。ご協力を!



水痘は2倍以上、おたふくも1.5倍とかなり増加しています。夏カゼのなごりのような手足口病や伝染性紅斑などが見られる一方、インフルエンザの流行もはじまりました。川崎病がひと月に3例出たのも初めてでした。グラフには示していませんが嘔吐下痢症(時には家族全員が罹患するような)が多く、インフルエンザが12月3日に初めて診断され、22例見られています。

12月の感染症の集計



雑誌ホスピタウン（日本医療企画）の「こどもの病気・50人の名医」に選ばれました。東北地方で5人だけです。書店で購入(800円)できます。掲載誌は待ち合い室にあります。御覧ください。



編集後記

150号記念紙無事出来上がりました。多くの方々から言葉や作品を頂き、ボリュームがものすごく多くなりました。ちょっと詰め込み過ぎと思いますが、多くの方々の支えによっていることを再確認できました。本当にありがとうございました。これからも、またよろしく願いいたします。

